

福島県男女共生センター図書室だより

第 91 号
2024. 7. 20

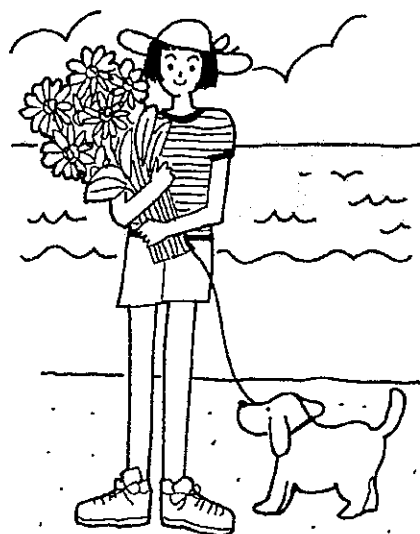
ライブラリー

散歩道

今月のテーマ

私らしく生きる！

— 素敵に輝いて!! —



分類番号 4203 ク

「草笛光子 90 歳のクローゼット」

草笛光子/著

主婦と生活社

本書は、前作の『草笛光子のクローゼット』奇跡の 80 代！が
とても反響が大きく“続編”となったようです。

今作は 90 歳のクローゼット、表紙の堂々とカメラを見つめる
凛とした眼差しに、90 歳とは思えないその美しさに引き込まれ
て、手に取っておりました。

ファッション誌かと思いき読み進めて行くと、草笛光子の人生
論・若い時の草笛光子・今の草笛光子、その時その時の人生論
や心構えなどファッション以外のお話がとても心に響きました。

生き方そのものが着こなしに、こんな風に年を重ねていたら
と、憧れてしまいました。（K. M.）



分類番号 4103 ナ

『「発達障害」と間違われる子どもたち』

成田奈緒子/著

青春出版社

著者は、小児科医、医学博士であり、35 年間にわたり研究・臨
床経験をされてきました。

近年、発達障害と呼ばれる子どもさんが劇的に増えているとい
われます。2006 年に全国で 7000 人足らずだったのが、14 年
後の 2020 年には 9 万人を超え、数字の上では 14 倍に増えたの
です。著者はこれまでの経験から、この子どもたちのすべてが発
達障害とは思えず、「発達障害もどき」の子どもさんが少なくない
と述べています。「発達障害もどき」とは著者がつくった造語で
す。「発達障害の診断がつかないのに、発達障害と見分けがつかない
症候を示している状態」のことです。まわりから発達障害を疑わ
れているが発達障害ではない、というケースを言います。

ここでは、「発達障害もどき」について解説し、そこから抜け出
す方法を具体的に話されています。子どもの脳を育てる事、生活
を改善する（朝日を浴びる、十分に眠る、規則正しい時間に食
べる）、親の生活改善も大切、親子のコミュニケーションをとること
などがあります。このような生活時間などの改善で上手いかな
いときは病院へ行く、できるだけ発達障害に詳しい先生のところ
へ、とお話されています。（T. Y.）



分類番号 2205 シ

「新入社員、会議についていけません。社会人を悩ませるビ
ジネス用語集」

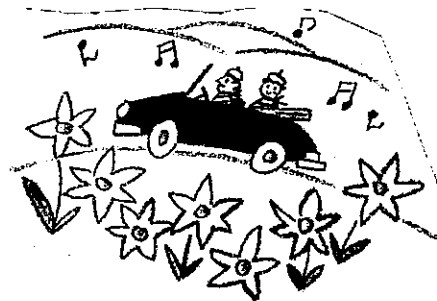
全日本ビジネス用語検討委員会/製作 Gakken

最近、よく耳にする、目にするカタカナ用語はありませんか？話
についていけなかったり、日本語で表現してほしいと思うことが多
くなった私にとって思わず手に取ってしまった本です。

登場人物は、ビジネス用語を誤解し振り回される新入社員の 2 人、
ビジネス用語を使いまくる取引先、自分のビジネス用語の意味を部
下に汲み取ってもらえない社長、ビジネス用語についてわかっている
ふりをしている部長です。

はじめに、ビジネス用語を誤解した新入社員の面白い行動をマン
ガで表現し、その下に「日本語でこう言えばいいのに！」と言い替
えています。更に、その用語を詳しく説明してるので、そういう意
味なんだと気持ちがスッキリします。

例えば、「アジェンダとは、議題・会議の予定」「オンスケとは、
スケジュール通りであること」「クローゼットとは、顧客と契約を結
ぶこと」「コミットとは、目標に向けて全力で取り組むこと」「ネゴ
るとは、交渉する」など約 70 用語を説明しています。いまさら恥
ずかしくて「聞くことが出来ない」「わからない」と言えない私のよ
うな方々にお勧めです。（T. Y.）



分類番号 6108 モ

「じろはったん」

森はな/作

梶山俊夫/画

アリス館

「じろはったん」とは人の名前です。作者が孫に聞いてもらい
たいと書いた作品です。「次郎八」という知的障害のある主人公
が村の人気者で、子どもたちと楽しく遊んでいる長閑な風景から
お話が始まります。日本の原風景を思わせる自然豊かな挿絵がス
トーリーの展開をおおらかに力強く表現しています。

平和な日々から戦争が始まり、戦争が激しくなっていくに従い
、じろはったんの周りの人間模様が変化していきます。赤紙で友
だちがいなくなった寂しさ、都会から疎開してきた子どもたちと
若い女性の先生のために、村人と一緒に食料調達する姿などが生
き生きと語られていきます。戦争が終わって、友だちの戦死が理
解できないでいるじろはったんを思いやる周りの人たちの姿が
温かく語られ、疎開していた子どもたちと先生との別れが切なく
迫ります。じろはったんの純朴で心優しい行動から、戦争という
悲惨な時代でも、人間として大切な温かなふれ合いの広がりを感じ
られるお勧めの一冊です。（S. S.）



分類番号 2110 カ

「ちょうどいいわがまま」

鎌田真/著

かんき出版

本書は、「ちょうどいいわがまま」という言葉でくくり、
第 1 章「ありのまま」を目指して生きる
第 2 章「がんばらない」というわがまま
第 3 章「心のものさし」を変えて自由に生きる
第 4 章わがままでも「人と上手につながる」ことはできる
第 5 章「自分らしさを貫く」というわがまま

この 5 つの切り口から、自分の生き方の芯・心のものさしを
しっかり持つことの大切さ、そのヒントを与えてくれる一冊でし
た。

人生 100 年の時代、このくらいわがままかまで自分らしく生き
ないと、100 歳までは辿り着けないかも？日本人が得意な「右へ
ならえ」をやめ、とんがって・・・

これまでの「枠」から外れて、ワクワクする生き方をしてみませ
んか？（K. M.）

☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	シンデレラとガラスの天井 フェミニズムの童話集	ローラ・レーン エレン・ホーン	太田出版	1101レ
2	男女平等への長い列	赤松良子	日経BP 日本経済新聞出版	1202ア
3	田辺聖子 十八歳の日の記録	田辺聖子	文藝春秋	1202タ
4	もう一度、歩きだすために 大人の流儀 11	伊集院静	講談社	2110イ
5	少し嫌われるくらいがちょうどいい	曾野綾子	ポプラ社	2110ソ
6	大人のいじめ	坂倉昇平	講談社	2201サ
7	あきらめない「強い心」をもつために	池江美由紀	アスコム	3206イ
8	帰れない村 福島県浪江町「DASH村」の10年	三浦英之	集英社	S4208ミ
9	財布は踊る	原田ひ香	新潮社	6102ハ
10	パンどろぼう	柴田ケイコ	KADOKAWA	6108シ

利 用 ガ イ ド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日前日9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話
の使用はご遠慮ください。

編集後記

暦の上では、入梅から夏至へと移り、幼い頃の日本の夏を思い出しています。今年は桜花が思いのほか足早に過ぎ去ってしまいました。季節感を大切に日常を楽しみたいと風鈴をさげて真夏日をのりきっています。

先日、ひめさゆりの里へ旅したら螢が飛交う様子を久々に見ることができました。小川の流れの音、カエルの鳴き声にもほっとするひと時を味わいました。

お気に入りの一冊を手にしてほっとするひと時を楽しんでいただければ幸いです。

発行者：公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター図書室だより作成グループ

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)